

駅弁のいまむかし、そしてこれからについて考える 「駅弁シンポジウム」開催のお知らせ

JR 各社は、令和7年度より文化庁「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業として「～郷土料理を伝承する日本固有の食文化～「駅弁」の調査研究・価値再構築事業」について、連携して駅弁の食文化としての価値の発信に取り組んでいます。

このたび当館では、鉄道文化事業の一環として「駅弁シンポジウム」を開催します。

駅弁シンポジウム

- 【開催日】 10月5日(日)
【開催時刻】 13:30 ※所要時間3時間、出入り自由
【開催場所】 本館3F ホール
【登壇者】 まねき食品株式会社代表取締役社長 竹田 典高(たけだ のりたか)氏
相模女子大学社会マネジメント学科教授 湧口 清隆(ゆぐち きよたか)氏
梅花女子大学食文化学科教授 東四柳 祥子(ひがしよつやなぎ しょうこ)氏
【参加方法】 参加無料 ※要入館料
開催時刻の15分前より開催場所を開場します。
【定員】 70名
【スケジュール】
13:30～13:35 開会挨拶 鉄道文化推進室長 青木 豊太(あおき とよた)
13:35～14:00 研究報告「鉄道の歴史と駅弁」
京都鉄道博物館 岡本 健一郎(おかもと けんいちろう)
14:00～15:00 基調講演 竹田 典高(たけだ のりたか)氏
「まねき食品の歴史と取組～創業から海外進出、万博への出店について～」
15:00～15:20 休憩
15:20～15:30 質問回答
15:30～16:30 パネルディスカッション
「食文化としての駅弁と今後のあり方について」
【後援】 一般社団法人日本鉄道構内営業中央会、相模女子大学、梅花女子大学
※本イベント開催中、写真撮影及び録画録音は禁止させていただきます



▲竹田 典高氏



▲湧口 清隆氏



▲東四柳 祥子氏